WATCH LOGGER	Free C C C WATCH LOGGER	
for iOS 探作マニュアル Ver. 2.0	データ取得 <全件取得>	
株式会社藤田電機製作所	ංස.	

目次

デー	タ保存塗	隼備	02
画面	アイコン	ン説明	03
測定	条件設定	定	04
デー	タ取得・		06
デー	タ詳細		08
デー	タ保存な	方法	09
デー	タ送信ス	方法	10
差分	取得		11

※ご利用するスマートフォンにNFC通信機能(FeliCa・おサイフケータイ対応)の搭載が必須となります iOS

※ご利用するスマートフォンOSは、iOSバージョン16.6以降が必須となります

【1-1】 データ保存準備



※ロガーから読み出した測定データの保存場所を作成します(この作業は必要に応じて行ってください)

ファイルアプリをタップします。(バージョンによってイラストが異なります)

②「このiPhone内」をタップします。

「iCloud Drive」への保存も可能ですが、個々の制約があるため動作保証はいたしかねます。「このiPhone内」への保存を推奨いたします。

③右上の…をタップし、「新規フォルダ」を作成します。

④自由入力なので、分かりやすい名前をつけます。

⑤続けてロガーから測定データを読み出す場合は、【4-1】または【4-2】に進んでください。

【2-1】画面アイコン説明



- ①「🚫」直ちに測定を開始します。
- ②「🛜」測定を停止します。
- ③「🏠」測定条件設定を行います。
- ④「?」詳細マニュアルが閲覧できます。
- ⑤「「」」収集データの取得を行います。
- ⑥「「……」収集データの取得方法が設定できます。
- ⑦「Ver X.X.X」アプリケーションのバージョンです。
- ⑧「プライバシーポリシー」ブラウザでプライバシーポリシーが閲覧できます。

【3-1】測定条件設定①



①「🛟」をタップします。

②スマートフォンのNFC読み取り部分にロガーをあててください。設定画面が表示されます。

③「測定条件設定」と「管理値設定」をタップすると切り替わります。

※「測定条件設定」の詳細※

「名称設定」…………「ロガー名称を変更する」を選択すると自由入力できます。(32文字以内 日本語・英語・数字のみ) 「測定開示日時」……最短で現時刻より3分後から設定できます。設定中の時間経過にお気を付けください。 「測定終了日時」……測定終了時刻に明確な時刻がある場合はその時刻を、ない場合は余裕をもって先の時刻を入力してください。 自動で調整され、公司またのですます。

(読込時は、前回設定した測定開始終了日時が表示されます)

「記録周期」………1~60秒、1~255分で入力できます。 「ロールオーバー」…記録容量がいっぱいになると古いデータを上書きし記録を継続。

【3-2】測定条件設定②



③「測定条件設定」と「管理値設定」をタップすると切り替わります。

「管理値設定」の詳細

「下限上限」…下限値,上限値をロガー本体の測定仕様範囲内で設定します。

「異常回数」…管理値をオーバーした回数が「異常回数」に達すると、ロガー本体にアラームが表示されます。

初期状態の1なら1回のオーバーでロガー本体にアラームが表示されますが、5に設定すると4回までは表示されません。 「しきい値」…設定された「しきい値」以上の衝撃(G値)を検知してリアルタイムに記録します。

- 10Gと設定すると、10G以上の衝撃値を記録し、10G未満は記録しません。
- 「上限」……設定した上限値を超えるとロガー本体にアラームが表示されます。

※画面例では「温度」「湿度」「衝撃」の管理値が表示されていますが、設定を読み出したロガーが対応している種別のみ表示されます。 (例) 温度のみ対応しているロガーの場合は、「温度」の管理値のみが表示されます。

④変更したい項目をタップして設定値を変更します。変更後は「改行」をタップして確定するとキーボードは消えます。

⑤測定条件設定入力後、設定をタップし、スマートフォンのNFC読み取り部分にロガーをあててください。

【4-1】データ取得①



※最後にロガーから測定データを読み出したデータ取得条件で読み出しを行います。 読み出し件数などのデータ取得条件を変更する場合は【4-2】を参照してください。

- ① 「 とタップします。
- ②スマートフォンのNFC読み取り部分にロガーをあてると、データ取得が開始されます。
- ③ロガー読込中は、「通信中… ロガーから 離さないでください」の読込画面が表示されます。 読込件数上のバーが終了するまで、スマホからロガーを離さないでください。

④取得が完了すると、グリーンの完了画面が表示されます。

⑤取得したデータが表示されます。

【4-2】データ取得②



①「条件指定+データ取得(差分・件数指定・全件)をタップします。

②測定データの取得条件を指定します。

「全件取得」 ⇒ロガーに記録されている測定データを全て取得します。

「件数指定(件)」⇒ロガーに記録されている測定データを指定した件数だけ取得します。

「差分取得」 →前回、読込んだ以降に新しく追加されたデータだけを取得する「差分取得」モードとなります(【7-1】「差分取得」参照)

②データ取得条件を指定後、「読込」をタップします。

③スマートフォンのNFC読み取り部分にロガーをあててください。

④指定した取得方法の件数分、データを読み込みます。

※一度、設定したデータ取得条件は引き継がれますので次回からは画面上部の「データ取得」をタップすれば読み込みます。 ※データ保存は【6-1】参照。





①【4-1】の⑤または【4-2】④の後、詳細をタップすると測定データの詳細が閲覧できます。

②No.を上下スクロールすることで、測定されたデータをすべて確認できます。 「グラフの先頭に移動」をタップするとNo.1に戻ります。

③グラフの任意の部分を拡大できます。 グラフを左にドラッグして「始点」を指定し、そのまま右にドラッグして「終点」を指定して指を離すと、 始点~終点の範囲を拡大できます。グラフを拡大している場合は「グラフの先頭に移動」をタップすると、現在表示しているグラフの先頭位置に戻ります。

グラフの表示範囲を全体に戻すときはグラフを2回タップしてください。

【6-1】データ保存方法



※ロガーから読み出した測定データを保存して、Windows版 Standard Editionで参照することができます。

① 【4-1】の⑤ または【4-2】④の後、「保存」をタップします。

②「デフォルト(読込時の年月日時間_使用場所/名所_シリアルナンバー)名」かファイル名を入力した後、「確定」をタップします。

③【1-1】で作成したフォルダを指定した後、…の右横にある「開く」をタップします。

④測定データが指定したフォルダに保存されます。

⑤保存したデータをメール添付で送る場合は【7-1】に進んでください。

【7-1】データ送信方法



①【5-1】の後、「ファイルアプリ」をタップします。

- ②右上の「…」をタップし、続けて「選択」をタップして、送信したいデータを選択します。(複数選択可能) 「測定ログデータファイル(.log)」、「温湿度測定データ(THD.csv)」、「衝撃測定データ(VBD.csv)」、「端末データ(INF.txt)」「スマホ端末のステータス情報(STS.csv)」CSVの読み方についてはPCソフトウェアダウンロードに同梱されているマニュアルをご確認願います。GPSがオンになっている場合、「読込時間」「読込場所」「経度」「緯度」が文字情報で送信されます。
- ③「「」」をタップし、「メール」を選択します。

④宛先に送りたい端末のメールアドレスを入力し、「 个 」をタップし、測定データを送信します。

【8-1】差分取得



■差分取得とは?

WATCHLOGGERが一度読み込んだデータのうち、前回取得済みのデータを除いて、新たに追加された分だけを読み込む機能です。 ※機能をよく理解し、お客様の責任でご使用ください。

■差分取得のメリット

データ取得の時間が短縮できる

⇒すでに読み込んだデータは再取得しないため、読込処理が高速になります。特に長期間測定しているロガーに有効です。

無駄なデータ重複を防げる

⇒既に記録されたデータと重複しないため、レポートや保存時のデータ整理がスムーズになります。

効率的な定期管理に役立つ

⇒定期的にデータ収集を行う際、毎回全データを読み直す必要がなく、現場作業の効率化につながります。